

2020年度 関西大学博物館実習

2020年度の関西大学博物館実習は、受講者20名で、内訳は表の通りである。関西大学では博物館実習を通年授業として設けており、金曜日の4時限～5時限のクラスと、土曜の4時限～5時限のクラスが、それぞれ学内での博物館実習と実習展の開催、学外見学実習などを行う。

今年度の博物館実習は、新型コロナウイルス流行により、2020年度授業当初2週間が休講となり、以降の春学期授業はオンラインを活用して実施することとなった。博物館実習の授業は、実技実務実習が主体であるという制約から、リアルタイム配信は行わず、オンデマンド配信に対応した関西大学の遠隔授業配信システム「関大LMS」に、担当教員の授業動画、教材や資料の配信配布、課題の掲示をおこなった。当初シラバスに従い、休講した2回の振替も含めて15週の授業のオンデマンド配信を行なった。「資料の基礎的な取り扱い」から「資料の梱包」、「資料の調書の取り方」へと段階的に実習し、博物館における学芸業務全般についての基礎的な知識の習得を行うようにした。月に1度程度予定されていた日曜日利用した近畿圏の博物館・美術館施設の見学実習は、実施できなかった。学内外の状況を見極めて、他の授業に干渉しない5月31日（日）と6月14日（日）、7月5日（日）の3回、関西大学博物館にて、対面で実技実務実習を行った。春学期の履修生は、1組（金曜日）14名、2組（土曜日）5名の合計19名である。

2020年度秋学期の授業は、新型コロナウイルス流行の状況を見極めつつ、シラバスの内容を対面授業で実施した。履修生は、復学した学生（2組）を含め20名である。

秋学期には、実習生による「関西大学博物館実習展」の開催に向けて具体的な作業を行う。この「博物館実習展示会」は、習得した学芸業務についての知識と経験、受講生の専門分野や興味を基に、準備、実施する展示会で、博物館実習の集大成としての行事である。例年であれば、学受講学生が自主的にグループを作ってテーマ設定し、展示資料の借用交渉と展示方法などの折衝を続け、充実した内容での展示会を実施する形で進めるが、今年度は、新型コロナウイルス感染対策のため、受講学生の個人企画展示とし、20の展示を設けた。実習展終了後には博物館関連科学や研究活動についての実習と講義、講義最終日は実習の反省会を開催して、2020年度の博物館実習のカリキュラムを終了した。

カリキュラム内容は、後掲の「2020年度関西大学博物館実習日程」を確認されたい。

今年度の博物館実習担当教員は、本学教員とともに博物館・美術館や研究機関、行政機関に所属される学芸員、専門担当者を委嘱してあつた。

2020年度 担当教員

米田 文孝	文学部教授	黒田 一充	文学部教授
西本 昌弘	文学部教授	原田 正俊	文学部教授
小倉 宗	文学部准教授	井上 主税	文学部准教授
橋寺 知子	環境都市工学部准教授		
明尾 圭造	大阪商業大学商業史博物館	一瀬 和夫	京都橘大学教授
伊藤 健司	元興寺文化財研究所	河内 晋平	東京芸術大学大学院映像研究科
北川 博子	関西大学文学部非常勤講師	合田 茂伸	西宮市立郷土資料館
高田みちよ	高槻市立自然博物館	高見 國一	刀匠
佃 一輝	一茶菴宗家	寺西 貞弘	元和歌山市立博物館館長
西川 卓志	元西宮市立郷土資料館館長	藤枝 宏治	藤枝春月（表具工房）
文珠 省三	元大阪歴史博物館	施 燕	関西大学文学部非常勤講師
佐藤健太郎	関西大学文学部非常勤講師		
熊 博毅	関西大学年史編纂室	山口 卓也	関西大学博物館
伊藤 信明	関西大学年史編纂室	山下 大輔	関西大学博物館

博物館実習 2020年度通年授業（前期） （1組（金曜日）・2組（土曜日）：4時限5時限）

LMSによるインターネット配信授業

- | | | |
|--------------------------------|-------------------------------|--------------------------|
| 4月24日・25日 | 1週目 | ガイダンス 文化財保護法の解説 |
| 5月1日・2日 | 2週目 | 美術資料の取り扱い |
| 5月8日・9日 | 3週目 | 美術・工芸資料の調書の取り方と梱包の仕方 |
| 5月15日・16日 | 4週目 | 考古資料の取り扱い |
| 5月22日・23日 | 5週目 | 考古資料の調書の取り方と梱包の仕方 |
| 5月29日・30日 | 6週目 | お茶と文化 |
| 5月31日（日） | 実技実務実習（1）関西大学博物館実習室・セミナー室・展示室 | |
| | 1時間目 | （館長ガイダンス・担当者挨拶・博物館展示室見学） |
| | 2時間目 | （考古資料の取り扱い） |
| | 3時間目 | （美術資料の取り扱い） |
| 6月5日・6日 | 7週目 | 民俗資料の取り扱い・民具調査と採集方法 |
| 6月12日・13日 | 8週目 | 歴史・文書資料の取り扱い |
| 6月14日（日） | 実技実務実習（2）関西大学博物館実習室・セミナー室・展示室 | |
| | 0時間目 | （米田先生ガイダンス） |
| | 1時間目 | （文書・歴史資料の取り扱い） |
| | 2時間目 | （文書・歴史資料の調書の取り方と梱包の仕方） |
| | 3時間目 | （考古資料の調書の取り方と梱包の仕方） |
| 6月19日・20日 | 9週目 | 展示会企画・ポスター作成／図録編集・出版 |
| 6月26日・27日 | 10週目 | 刀剣の取り扱いの基礎と方法 |
| 6月26日・27日 | 11週目 | 表具の取り扱いと保存技術 |
| 7月3日・4日 | 12週目 | 博物館見学実習について（レポート課題あり） |
| レポート課題：夏季博物館園見学について 提出期限：10月5日 | | |
| 7月5日（日） | 実技実務実習（3）関西大学博物館実習室・セミナー室・展示室 | |
| | 1時間目 | （刀剣の取り扱いの基礎と方法） |
| | 2時間目 | （美術・工芸資料の調書の取り方と梱包の仕方） |
| | 3時間目 | （資料写真撮影の目的と方法） |
| 7月10日・11日 | 13週目 | 資料写真撮影の目的と方法 展示パネルの作成 |
| 7月17日・18日 | 14週目 | 展示開発ワークショップ |
| 7月24日・25日 | 15週目 | 博物館実習展指導と展示企画 |

レポート課題：実習展示企画案の提出 提出期限：9月24日



2020年度博物館実習風景 前期の対面授業

博物館実習 2020年度通年授業（後期）

（1組（金曜日）・2組（土曜日）：4時限5時限）

2020年度 関西大学「博物館実習」日程

2020.7.17

授業時間 1組：金曜日 4・5時限（14：40～17：50） 2組：土曜日 4・5時限（14：40～17：50）

【重要】新型コロナウイルス感染拡大防止に最大限配慮して実施いたしますが、今後も状況に応じて授業内容が変更となることが考えられます。変更があり次第、インフォメーションシステム等を使って情報発信いたしますので、適宜ご確認ください。

月	1 組（金 曜）			2 組（土 曜）				
	日	A班	B班	日	A班	B班		
9	25/金	橋寺 博物館実習室	文化遺産としての建造物	26/土	橋寺 博物館実習室	文化遺産としての建造物		
	27/日	橋寺・山下	博物館等施設見学（神戸市 建造物・景観見学）	見学実習（神戸市立博物館、竹中道具館、神戸市街地景 観観察）				
		竹中道具館・神戸居留地周辺景観観察						
10	2/金	4限	米田・井上 博物館実習室	展示計画プレゼンテーション	3/土	4限	米田・井上 博物館実習室	展示計画プレゼンテーション
		5限	博物館 博物館実習室	展示の技術 （展示ケースの開閉、展示台の使い方など） ／実習展での資料借用と梱包／印刷物等 の提出方法について		5限	博物館 博物館実習室	展示の技術 （展示ケースの開閉、展示台の使い方など） ／実習展での資料借用と梱包／印刷物等 の提出方法について
	4/日	博物館 実習室・展示室	対面実習（実習展作業：調査作成、借用書提出、資料借用のための梱包と運搬作業） （コロナウイルス流行の状態によって、通常実習が困難となった場合のみ、実施します）					
	9/金	黒田・山口 博物館展示室	博物館の普及広報と情報化、 インタープリテーション	10/土	黒田・施 博物館展示室	博物館の普及広報と情報化、 インタープリテーション		
	16/金	文珠・山口 博物館展示室	展示指導及び実習展準備作業 （学生による自主作業）	17/土	合田・施 博物館展示室	展示指導及び実習展準備作業 （学生による自主作業）		
	23/金	西川・明尾 博物館展示室	展示指導及び実習展準備作業 （学生による自主作業）	24/土	合田・北川 博物館展示室	展示指導及び実習展準備作業 （学生による自主作業）		
	25/日	博物館 実習室・展示室	対面実習（実習展作業：キャプション・パネル作成、照明、展示作業など） （コロナウイルス流行の状態によって、通常実習が困難となった場合のみ、実施します）					
	30/金	（休講） 実習展のための自主作業は可能		31/土	（休講） 実習展のための自主作業は可能			
	6/金	米田・西川 博物館展示室	展示指導及び実習展準備作業 （学生による自主作業）	7/土	井上・合田 博物館展示室	展示指導及び実習展準備作業 （学生による自主作業）		
	11	8/日	担当者全員 （講評） 博物館展示室	実 習 展 10：00～16：00 講 評（11/8 14：00～15：30）撤 去（15：30～16：00）				
20/金		伊藤（健） 博物館実習室	資料の借用と運送の現状	21/土	伊藤（健） 博物館実習室	資料の借用と運送の現状		
27/金		高田 博物館実習室	自然史資料の保存と整理	28/土	高田 博物館実習室	自然史資料の保存と整理		
29/日		高田・施 自然観察・自然系博物館	見学実習（見学地未定）					
4/金		一瀬 博物館実習室	展示評価（実習展の振り返り）	5/土	一瀬 博物館実習室	展示評価（実習展の振り返り）		
12	11/金	合田 博物館実習室	拓本の取り方	12/土	合田 博物館実習室	拓本の取り方		
	18/金	4限	西本 博物館実習室	博物館における資料研究	19/土	4限	施 博物館実習室	博物館における資料研究
		5限	文珠 博物館実習室	ユニバーサル・ミュージアム としての展示		5限	文珠 博物館実習室	ユニバーサル・ミュージアム としての展示
	25/金	担当者全員 古文書実習室（D棟）	1年間の反省・学芸員の課題	26/土	担当者全員 古文書実習室（D棟）	1年間の反省・学芸員の課題		
	1	14/木 締切	1組・2組全員	博物館実習簿及びレポートの提出 〔提出場所〕 レポート論題〕「自由題」 博物館事務室 A4判 横書き 4000字（原稿用紙・ワープロ作成いずれも可）	提出期間 1/7～1/14 提出時間 10：00～16：00（12：30～13：30は除く）			
2	10/水～	1組・2組全員	〔受取場所〕 博物館実習簿及びレポートの返却 博物館事務室	受取時間 10：00～16：00（12：30～13：30は除く）				

【実習上の諸注意】

- （1）実習に関する全ての連絡は、インフォメーションシステムの「講義連絡」または「お知らせ」、「個人伝言」にて行うので、実習のある日の前日には、必ずインフォメーションシステムをチェックすること。
また、休日に実施する実習・見学の詳細については、その都度授業中に指示をすることもあるので注意すること。
[インフォメーションシステムは、関西大学ホームページ（<http://www.kansai-u.ac.jp>）のトップページ左下にある「インフォメーションシステム」をクリックして閲覧ください。]
- （2）見学は時間的に制約される場合が多いので、時間厳守で集合のこと。
- （3）館内においては、館則を守り、学生としての品位と自覚が必要。また、万年筆・ボールペン等は使用しないこと。鉛筆のみ可。
- （4）実習簿は所定の日に必ず提出すること。その際、配付した資料・見学実習等で集めた資料等も実習簿にファイルしておくこと。また、採点後は各自へ返却するので必ず受取りに来ること。

2020年度博物館実習受講生数

全体

		3 年次	4 年次	合計
学 部	法 学 部			
	文 学 部	13	2	15
	経 済 学 部	1		1
	商 学 部			
	社 会 学 部	1		1
	政策創造学部			
	外国語学部			
	総合情報			
	社会安全学部			
	理工系学部	1		1
	小 計	16	2	18
大 学 院				1
科 目 等 履 修 生				1
総 合 計		16	2	20

院・学部・年次別	3 年次	4 年次	大学院	科目等	合計
1 組（金曜日）	14				14
2 組（土曜日）	0	4	1	1	9
合 計	14	4	1	1	23

男女比	男子	女子	合計
1 組（金曜日）	3	11	14
2 組（土曜日）	2	4	6

関西大学の博物館実習は、実習生が取り組む「実習展」を中心に年間の実習プログラムを組み立てている。2020年度の実習展は、新型コロナウイルス感染拡大を防止するため、これまでとは異なるプログラムに組み替えて実施した。ここでは、その概要を記しておく。

例年の実習展は10月から11月にかけての時期に、1 週間の展示期間を設定して行う。春学期には実習展に向けた諸資料の取扱いや学外見学などの実習を積み上げる。7 月から9 月にかけて展示計画を作成し、10月に展示作業を行う。展示期間中は学内外に公開して来館者への解説に当たる。実習展の前後には展示計画プレゼンテーションやインタープリテーション、展示講評、展示評価などの授業を設定し、学年末のレポート提出をもって、およそ半年間をかけた実習展が完結する。この実習展は、実習生10人前後を1 班として全体で3～4 班に分かれて行う。班ごとに展

示テーマを設定し、班のメンバーが共同作業を行って展示を完成する。

2020年度の実習展では、感染症拡大防止に向けた全学的な方針のもと、展示作業において実習生が密集することを避けるため、次のようなプログラムに切り替えた。(1) 班分けによるグループ作業は行わない。(2) 実習生1人が1つの「ミニ展示」を行う。(3) 実習展の展観は1日間とし、学内外に公開するが、来館者の密集を避けるため広範な広報は行わない。(4) ミニ展示は、原則として、実習生自身が用意する資料・作品1点に博物館が貸し出す資料・作品1点を加えた2点で構成する。(5) 展示に係る借用事務、調書作成、借用・搬出入作業、展示作業など各実習は、実施時間帯を事前に予約したうえで、担当講師及び博物館学芸員が実習生ごとに個別指導する。

展示は、幅2600mmの展示ケースを2分割して、1台の展示ケース当たり2つのミニ展示とし、全部で20のミニ展示が完成した。ミニ展示のテーマは別表のとおりである。

実習展実施前には、ミニ展示で「博物館実習としての実習展の場」が成り立つのか、実習の個別指導が円滑に行えるのか、さらに「ミニ展示」そのものが成立するのか、といった危惧があった。展観後の展示講評では、「各ミニ展示は、資料・作品2点の展示という困難を乗り越えて展示としてうまく構成されている」、「隣接する展示との調和を互いに考慮して、1つの展示ケース内で2つのミニ展示が違和感なく構成されているものが多い」、「グループ作業では望めない、全実習生がすべての工程を担当する、という実習効果があった」、「展示作業中に実習生が互いの展示を批評しあう姿が散見された」、「企画から完成・撤収までの各工程を班員によるディスカッションを経て実行する協働プロセスがなかったのは残念」、「展観期間が短いうえ、多くの観覧者でにぎわう実習展とすることができなかったため、全体として淡々とした実習となった」などの意見があった。

2021年度の実習展では、通例の、班別展示による1週間展観の実習展として実施する計画としているが、感染症拡大防止策を講じながら、より効果の高い実習展となるよう、柔軟に対応していきたい。

博物館実習生のミニ展示テーマ

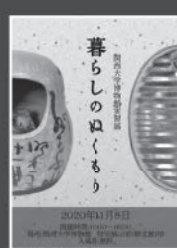
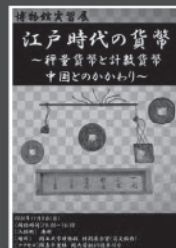
- 1 江戸時代の貨幣 ～秤量貨幣と計数貨幣 中国とのかかわり～
- 2 秤のれきし
- 3 音のないオルゴール展
- 4 関西大学の記念品を見る
- 5 ポータブル音楽の歴史
- 6 黄檗～今昔を知る～
- 7 祈り～信仰は海を越えて～
- 8 人々にとっての鏡～江戸時代と現代～
- 9 日常の中のフジタ～時代を超えて～
- 10 鳥海青児と関西大学
- 11 読・観～漢字を観てみよう
- 12 関大の節目と歩み～記念葉書からみる歴史～
- 13 戦前の女性の装い
- 14 波佐見焼―大衆のための焼き物―
- 15 暮らしのぬくもり
- 16 大阪市の地震・津波
- 17 生命を得た看板展
- 18 「筆記用具の中の動物」展
- 19 猿の郷土玩具―こめられた願い―
- 20 うつわの美―江戸時代に成立した陶磁器―

2020年度 関西大学博物館実習展

11. 8 (日) 10:00 ~ 16:00 (入館は 14: 30 まで)

関西大学博物館特別展示室 (簡文館内)

入館料：無料



関西大学博物館 〒564-8680 大阪府吹田市山手町3丁目3-35
TEL:06-6368-1171 FAX:06-6388-9928 Email:hakubutsukan@ml.kandai.jp

関西大学博物館
Kansai University Museum

博物館実習展の実習生展示



江戸時代の貨幣制度について



はかりの歴史



音のないオルゴール展



関西大学の記念品を見る



ポータブル音楽の歴史



黄檗〜今昔を知る〜



祈り～信仰は海を越えて～



人々にとっての鏡～江戸時代と現代～



日常中のフジタ～時代を超えて～



鳥海青児と関西大学



読・観～漢字を観てみよう



関西大学の節目と歩み～記念葉書からみる歴史～



戦前の女性の装い



波佐見焼—大衆のための焼き物



暮らしのぬくもり



大阪市の地震・津波



生命を得た看板展



筆記用具の中の動物展



日本の猿の郷土玩具—こめられた願い—



うつわの美—江戸時代に成立した陶磁器—



博物館実習展風景



博物館実習展講評